

平成26年12月14日執行
衆議院小選挙区選出
議員選挙
(福岡県第10区)

選挙公報

投票日12月14日

福岡県選挙管理委員会

自民でもない、民主でもない、
あなたの声を さとう正夫へ



衆議院議員候補 無所属

さとう正夫

さとう正夫 の 4つの政策

自民でもない！ 民主でもない！
企業・団体・組合への利益誘導政治ストップ！
さとう正夫が新しい政治をつくる！



政策1 税金のムダを切る！ 行政改革と公務員制度改革

官僚の天下り反対、ムダな特別会計と縦割り行政を見直す、歳入庁設置で税収増

政策2 増税凍結！ 賃金が物価アップに追いつくまで消費税を5%に戻す

異次元の金融緩和と円安で景気が上向きになったのに、消費税増税でマイナス成長。いちど税率を8%から5%にもどして、デフレが止まり賃金が物価アップに追いついてから8%にすべきです。

政策3 身を切る改革！ 国会議員定数削減、1票の格差是正

国会議員が身を切る改革をしないかぎり、消費税増税に国民の理解は得られません。

政策4 子育てに優しく！ 保育園整備と保育園費値下げ、社会福祉法人改革

女性が働きたいと思っても、子どもを保育園に預けると、働いたお給料が保育園費に消えてしまいます。「だから働かない」というお母さんの声を聞きます。先進国と比較しても幼児教育の保護者負担が高い日本。保育園を増やすことも含めて保育の改革を進めます。また介護などの社会福祉法人も改革が必要です。

さとう正夫選挙事務所 小倉北区熊本1-2-1 2階 TEL951-0311 <http://sato-masao.com/>

さとう正夫 衆議院議員実績

●予算委員会・国交委員会でエレベーター工事入札問題について重ねて質問
⇒国土交通省が「エレベーター工事価格」のデータベースを霞ヶ関・自治体を横断して作成し、予定価格の適正化にむかう。消極的だった文部科学省と国立大学が、情報公開と談合対策を実施。

●総務委員会にて「NHK受信料10%値下げ」の約束違反、「NHK職員天下り」、「NHK関連会社の不正経理」について追及。

★ さとう正夫は「国会議員ランキング」で「二つ星議員」と認定されました。今年の通常国会にて34回質問し、質問回数は衆議院議員480人の中で第8位でした。

さとう正夫 プロフィール

生まれ 昭和30年(1955年) 小倉生まれ
住 所 北九州市小倉北区大島在住
学 歴 福岡県立小倉南高校をへて
日本大学生産工学部卒業
家 族 妻、息子2人、娘1人、孫1人、愛犬「ジェム君」
趣 味 バスケットボール、日帰り温泉
略 歴 元・福岡県議会議員(4期連続当選)
前・衆議院議員
(予算委・総務委・消費者特別委ほか)
現 在 福岡県交通遺児をささえる会 会長

安倍政権の暴走ストップ! 政治を変える

比例は

日本共産党

とお書きください



※候補者名を書くとき無効になります。
「身を切る改革」というなら、企業・団体献金を禁止し、政党助成金こそ廃止すべきです。

国民の浄財が基盤。清潔だから、どんな不正も追及できます。

消費税10%は先送りではなく、きっぱり中止を

今の景気悪化は、8%への増税強行による「増税不況」です。

消費税に頼らない別の道を

- ◆大企業・富裕層に応分の負担を求める税制改革で財源を。
- ◆大企業の内部留保を活用し、国民の所得をふやす経済対策で税収をふやします。



私は県議としてくらし・福祉・教育を守る仕事をしてきました。この経験を国政でも生かします。安倍政権と対決し、あらゆる問題で対案を示しながら、幅広い立場の方々と共にする日本共産党に一票をお願いします。

格差広げるアベノミクス、ストップ くらし第一で経済を立て直します

- ◆長時間労働をただす。非正規から正規雇用へ。
- ◆ブラック企業規制法をつくります。
- ◆中小業者を苦しめる外形標準課税反対。
- ◆住宅リフォームへの助成・支援強め、地域経済活性化。
- ◆社会保障の切り捨て反対。高すぎる医療費の窓口負担や国民健康保険料を軽減。保育園・特養ホームを増設。
- ◆米価暴落対策を。TPP交渉から撤退し地域経済を守る。

年金削減ストップ

「海外で戦争する国」づくりノー 憲法9条いかした平和外交を

- ◆集団的自衛権行使容認の閣議決定を撤回します。
- ◆「北東アジア平和協力構想」の実現に全力。
- ◆秘密保護法は廃止。沖縄新基地建設は中止を。



原発再稼働をゆるしません 原発ゼロの日本をめざします

【プロフィール】1960年生まれ。54歳。広島大学大学院修了。中学教師(志徳中・菅生中・守恒中)13年をへて、県議2期。現在、党10区福祉・教育対策委員長。



たかせ 菜穂子

日本共産党

日本経済を立て直す



自由民主党公認・衆議院議員候補
やまもと こうぞう
公明党推薦
農政連推薦

山本幸三

〈66歳〉

私の政治信条 私は「政治家とは常に国民生活を守り、少しでも豊かにしていくことを使命とすべし。」と信じています。今、国民は4月の消費税率8%への引き上げによる実質所得(給料)の減少で苦しんでいます。こういうときに、来年も消費税を10%に引き上げるという政策は採るべきではありません。デフレから完全に脱却し、経済が回復して国民の所得(給料)が十分に上がるまで延期すべきです。この私の主張は、安倍総理も動かし、最終的に一年半延期することが決まりました。今後ともアベノミクスの成果が地方、低所得者、子育て世帯、年金生活者の下にしっかり届くように全力で頑張ります。以下、『私の7つの公約』を掲げます。

1. アベノミクスを成功させよう!

安倍総理とともに勉強してきた政策がアベノミクスとして花開きました。株が上がり、円が安くなり、企業収益も向上、雇用も増えました。ところが、今年四月の消費税率8%への引き上げでアベノミクスがストップしました。今こそアベノミクスを失敗させたら日本経済の立ち直りは永久に不可能になります。そこで私は、安倍総理とともにやっていた議論「アベノミクスを成功させる会」を再開し、以下のような提言をまとめ、安倍総理にお届けしました。安倍総理は、これを全面的に受け入れ、改めてアベノミクスを成功させるために国民に信を問う決断をされました。

○次の消費税率引き上げは二〇一七年四月まで延期すること。○ガソリン代の補助や給付金など「国民の懐を温める経済対策を三兆円程度行うこと。○給料が確実に上がるよう政労使会議を活用すること。○デフレ脱却を確実にすることも、政府と日銀の関係を明確化するために日銀法を改正すること。○今後は成長戦略に全力で取り組み、法人税減税や年金運用改革などで具体的な成果を出すこと。

2. 思い切ったインフラ整備

景気後退期には、思い切ったインフラ投資によって景気回復を図った方が、長期的には財政の健全化につながるというのがケインズ以来の常識です。北九州が必要とするインフラ整備を「気に進めず」。

○北九州空港の滑走路延伸 ○小倉駅から軌道型の連絡路を ○新門司方面から空港へのアクセス道路新設 ○県道六号線の早期着工 ○城野駅周辺のアクセス改良

3. 中小企業対策

中小企業こそが地方経済の担い手であり、きめ細かな政策が必要です。

○法人税の軽減 ○事業承継税制の一層の拡充 ○中小企業の外形標準課税は絶対阻止 ○ガソリン、軽油等燃料費の非課税や財政補助 ○銀行の中小向け貸出しの義務化

4. 教育の充実

長期的戦略としては、人材育成・教育の充実が必要です。北九州の市民の誰もが最低英語がしゃべれるという環境を創らなければ、観光客の増大や国際的企業の進出は望めないからです。

○小学一年生からの英語教育 ○海外留学制度の推進 ○「愛国心」教育の重視 ○奨学金制度の大幅拡大 ○保育、児童教育現場の環境改善(人員増、処遇改善)

5. 年金・医療・介護の充実

安心できる社会保障が得られないと消費も増えず経済は安定しません。

○年金制度の信頼を高めるために、積立制度への移行を ○医療、介護従事者の処遇改善で安心した老後を ○安い後発薬の使用拡大などで医療コストの低減化 ○生活保護政策の抜本見直し

6. 企業誘致

空港周辺への航空機産業等の誘致 ○地方空港着陸料の軽減でLCC(格安航空)の誘致を ○遊休地にメガソーラー設置や離島周辺での風力発電などで新産業創出 ○農振地域・調整区域の見直しによる企業立地用地の拡大

7. 食の安全の確保

安心・安全な食料を確保するのは、国家の基本です。子ども達の健やかな成長の為に十分な注意を払わなければなりません。

○TPP・FTA交渉では、米などの例外品目は死守すること ○都市と農村を結ぶ体験型農業のシステム化を ○「魚は健康と美容に最適」との食育教育の徹底を

格差拡大を止めて生活者を守る!!

安倍政権は、正社員を減らし、一生派遣で低賃金の若者を増やす。

今、労働者の3割強(2千万人)が非正規労働者。20代前半では半数に及びます。若い世代は、低い給料のため結婚も出産もためらう状況です。

労働者保護ルールの改悪を阻止
格差拡大を是正
同一労働・同一賃金の推進
社会保障の充実で暮らしに見通しと安心を
給付型奨学金で学びの機会の確保

「厚く、豊かな中間層」の復活

特定秘密保護法
政府の不都合な情報が政府判断で隠され続ける。公開を義務付ける見直しを!

集团的自衛権
解釈改憲の閣議決定のやり過ぎに反対。国民議論を経て国の守りを充実せよ!

きいたかしの対案あり!!

エネルギー政策
党見解をふまえ、安全・安定供給へ、安全性向上、原子力に代わる火力発電の最新鋭化を急げ!

中小企業振興
人手不足、原材料・燃料高騰、消費増税の影響緩和対策を急げ。事業承継税制の見直しを。

北九州の元気を日本の元気に。

本当の地方分権で地方再生をはかる

安倍政権の「地方創生」は国主導の上から目線。具体策は盛りこまれません、バラマキだけが止まらない。

私たちは、「地方分権で地方再生」をはかります。具体策、あります。

解決①一括交付金と出先機関見直しで地域主権改革
解決②六次産業化と戸別所得補償で一次産業の再生
解決③子育て支援の拡充で少子化・人口減少へ対策
解決④郵便局ネットワーク活用で福祉・防災を充実



衆議院議員候補 民主党公認

きいたかしの歩み

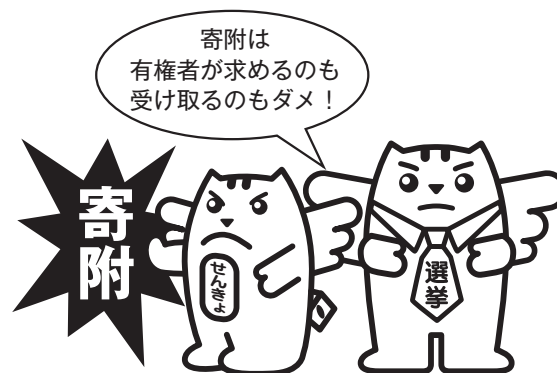
1973年(昭和48年)北九州市門司区に生まれる。田野浦小、早鞆中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書を経て、03年 衆院選に初挑戦、比例九州にて初当選。05年 衆院選で惜敗。4年間の政治浪人後、09年 衆院選に再挑戦、小選挙区当選。文部科学大臣政務官、衆院予算委員長、衆院文部科学委員長、事業仕分け第3弾仕分け人等を歴任。12年 衆院選で惜敗、国政復帰を目指して地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革

投票日12月14日

- ◆ 投票日当日の投票時間は、原則として午前7時から午後8時までです。
- ◆ 投票日に用事などがある場合は、「期日前投票」ができます。
 - ・ 仕事や冠婚葬祭、旅行などの理由でも利用できます。
 - ・ 投票日の前日まで、選挙人名簿に登録されている市区町村の期日前投票所で投票ができます。
 - ・ 期日前投票の投票時間は、土曜日、日曜日も含めて、原則として午前8時30分から午後8時までです。

ルールを守って明るい選挙

- ◆ 贈らない!
- ◆ 求めない!
- ◆ 受け取らない!



- ・ 候補者等が選挙区内の有権者にお金や物を贈ることは、禁止されています。
- ・ 有権者が候補者等に寄附を求めることも、禁止されています。

※選挙公報の掲載順は、くじによって決められたものです。立候補の届出順とは異なる場合があります。

投票日12月14日

◆ 投票の順序

- ①小選挙区 ②比例代表 の順で投票します。
※ 最高裁判所裁判官国民審査 も併せて行われます。

◆ 投票用紙の色

- 小選挙区は **桃色**、
比例代表は **クリーム色** です。
最高裁判所裁判官国民審査は **白色** です。

◆ 投票用紙の記入の仕方

- 小選挙区は **候補者名** を、
比例代表は **政党名** を記入します。

大事な投票、忘れずに!



選挙の「めいすいくん」

◆ 投票日当日の投票時間は、原則として 午前7時から午後8時までです。

※選挙公報の掲載順は、くじによって決められたものです。立候補の届出順とは異なる場合があります。